

令和3年度 コミュニティからのご意見

飯山北 コミュニティ

ご意見 1	<p>飯山北コミュニティセンターの改修について</p> <p>本センターの改築については、竣工までの工程（案）が示されましたので、今年度中に市と連携して、先進コミュニティセンターの視察や住民の意向などの調査を行いコミュニティの建築に係る方向性を取りまとめる予定です。</p> <p>新型コロナへの対応等市政運営の厳しい中ではありますが、防災上、安全・安心につながる避難所機能も有しておりますので一日も早い完成が望まれます。</p> <p>そこで、次年度予定の基本構想・設計などへの着手や市民センターを含めた周辺の整備も予定通りの進捗が図られますようお願いいたします。</p> <p>（回答）</p> <p>コミュニティセンターの改築につきまして、地域内の意見集約などにご協力いただきありがとうございます。</p> <p>昨年度、飯山北コミュニティセンターは建て替えという方針をお示したところであり、令和4年度は基本構想の策定を進めてまいります。</p> <p>今後とも地域の御意見を伺うとともに、関係部署とも緊密に連携し計画的な整備に努めてまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。</p>
ご意見 2	<p>大東川の改修工事について</p> <p>現在、大東川は新開橋まで改修工事が進んできており、徐々に浸水被害の懸念は低下しておりますが、7月8日も大雨時の大東川、上車橋の水位は一気に上昇し、周辺住民は不安で何人かが本センターに避難してきました。</p> <p>一方、山ノ谷交差点からマルナカ付近までの旧国道が一時的に冠水により通行規制がかかりました。</p> <p>このように過去の雨量を更新するような事象が全国的に発生していますので、早期に大東川の改修計画が完了するよう継続した工事の実施を引き続き県に要望をお願いいたします。</p> <p>本川改修と合わせて周辺支流からの内水氾濫の対策についても対応をお願いします。</p> <p>（回答）</p> <p>大東川の改修工事の進捗について香川県中讃土木事務所に確認したところ、現在、新開橋の橋台の工事を行っており、順次、橋の整備や新開橋周辺までの護岸改修を行い、また、山の谷交差点の富士見橋までの区間については、今後、用地の取得を行っていくとのことでした。</p> <p>引き続き、県から事業の進捗状況などの情報を取得しながら早期完成に向けて要望を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>次に、周辺支流からの内水氾濫対策につきましては、大雨時に当地区の各水路の水位や流れの状況、排水が集中して周辺が冠水する箇所などを把握する必要があると、現地で確認させていただきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p>

飯山中学校の教育環境整備について

教育環境整備については計画的にすすめられています。現在、飯山中学校のトイレは、洋式化が遅れており、市においては「トイレ」の改修は校舎の老朽化対策として長寿命化計画を作成し 2027 年から実施される予定となっています。「トイレ」は生徒の健康上大切な場所であり現状では我慢をしている生徒も見受けられ学習意欲にも悪影響を与えています。財政事情の厳しい中ですが「トイレ」洋式化については前倒しで行っていただくようお願いします。

もう一点は教育現場では今後 2024 年までに教科書のデジタル化がすすめられデジタル化に慣れないうちは教職員の大きな負担となることが予想されます。丸亀市においては、コロナ対策としてのタブレットや WI-FI 環境などは整備されていますがこれからはどのように活用していくかが大きな課題となります。ICT 支援員などの確保を早急にされますよう要望いたします。

(回答)

全国的に公共施設の老朽化が進行するなか、財政負担の軽減・平準化を図りつつ、施設機能を良好な状態で延命するため、これまでの事後保全的な対応から予防保全的な対応への転換が求められ、市では令和元年度に、「丸亀市学校施設長寿命化計画」を策定し、これに基づき学校施設の改修を進めていくことにしています。

飯山中学校のトイレの洋式化につきましても、2027 年度からの長寿命化改修にあわせて実施予定ではありますが、飯山中学校のトイレの洋式化率は 50%と、市内の全小中学校の洋式化率と比べると低い状況にありますことから、学校生活をより快適にすごせるように、トイレの老朽化状況や市の財政状況などを総合的に考慮しつつ先行整備についても検討してまいりたいと考えております。

また、本市立小・中学校においては、令和 2 年度中に GIGA スクール構想の実現に向けた 1 人 1 台端末 (PC タブレット) を配置しました。

今後は、その活用が求められることから、令和 3 年度より、新たに ICT 支援員を各校に派遣しています。具体的には、機器の操作や授業支援を行い、教員の ICT 活用における負担軽減を図っています。